

芸振



大分県芸術文化振興会議

№. 93

平成6.12

もくじ

大分県芸術文化振興会議	
副会長に就任して……………	1
第30回記念県芸術祭アルバム……………	2
第30回記念大分県芸術祭賞等	
受賞者一覧……………	3
第30回記念大分県芸術祭に参加して…	4～5
平成6年度海外研修報告……………	6
豊の国・大分から文化発信	
その核となるビーコンプラザ…	7
事務局だより……………	8

■発行人：仲町謙吉 ■編集人：末廣利人

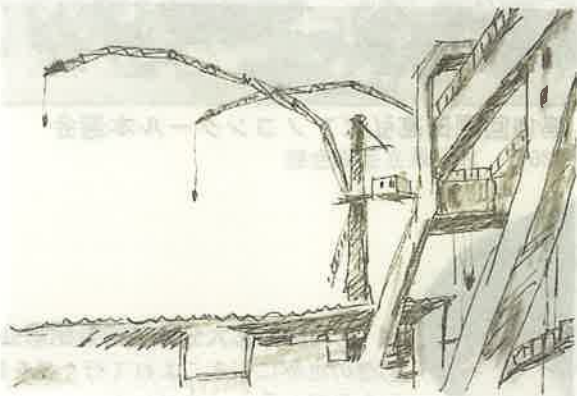
(題字 梶山)



大分県芸術文化振興会議 副会長に就任して

秋 月 睦 男

このたび、私は大分県芸術文化振興会議（以下芸振）の副会長に選任され、その重責を痛感しているところである。承ると芸振は昭和39年に発足し、現在加盟団体157、個人会員172名を数え、その諸活動は県内全域に及んでいるようだ。いかに地域の方々がいろいろな分野で芸術文化活動に熱き思いを燃やしているかを窺い知ることができる。最近私共の生活には、多少の豊かさやゆとりが生じており地域での芸術文化活動への参加意欲も次第にたかまりつつある。特に高令化社会を迎え生涯学習が広く叫ばれている昨今では、地域の人々がいかに身近かで気軽にその生き甲斐活動に従事できるかが問われてくるだろう。私は芸振がその環境条件を整えその支援をする役割を担っていると思う。去る11月18日芸振事業としてファミリー芸術劇場が臼杵市民会館で開催され、市長さんも御出席頂いた。公演団体は、アンサンブルラ、メールの皆さんに加えて臼杵の市民コーラスグループの方々である。素晴らしいハーモニーは多くの観衆を魅了した。舞台装置も整っている。私は観賞しながらこの中に地域文化の息吹きを感じた。芸振事業としては、この外に学校巡回公演や文化キャラバン等が巾広く活発に活動している。このような芸振活動の中から個性豊かな地域文化が創造され若き優秀の輩出を期待したい。平成10年には第13回国民文化祭が我が大分県で開催される。是非地域特性豊かな国家行事としたいものだ。



平松 憲治（県美協会員）

第30回記念 県芸術祭アルバム

功労者表彰式 10月1日 大分県立芸術会館



▼開幕公園 「秋三題」と「清経」
豊後の柳ヶ浦の清経塚の悲話を能・箏・日舞で合体
作品とした画期的創作 能を楽しむ会
10月2日 大分県立芸術会館



▼大分県民オペラ・ウィドウ（夜の部）
11月6日 大分県立芸術会館

▲「沈んだ島の物語」県民演劇
10月29～30日 大分県立芸術会館



▲ 第30回大分県芸術祭中幕公演
宮城道雄作曲「春の賦」の合奏
創明音楽会九州支部
11月12日 大分県立芸術会館

▲ 第10回園田高弘ピアノコンクール本選会
11月26日 大分県立芸術会館



◀ 第30回記念大分県芸術祭閉幕公演
幻想の世界に引きこまれて行く様を描いたロマンティックバレエ
「レ・シルフォード」より 大分県洋舞踊協会
12月4日 大分県立芸術会館

第30回記念大分県芸術祭受賞者一覧

古典芸能を楽しむ会など5団体・4個人に決まる

賞	団体・個人名	芸術祭諸行事との関係
芸術祭賞	古典芸能を楽しむ会 宮永 育子 鶴田 恵子 花柳三美代	開幕行事「秋三題と清経」の公演が特に優れていた。
	大分県創明音楽会 代表/田中 愛子 [Redacted]	中幕行事「宮城道雄生誕百周年記念演奏会」の公演が特に優れていた。
	大分県洋舞踊協会 代表/笠木 啓子 [Redacted]	閉幕行事「大分県洋舞踊協会創立35周年記念公演」の公演が特に優れていた。
功労賞	伊勢 敏郎 団体/大分県民オペラ協会 [Redacted]	参加行事「大分県民オペラ“メリー・ウィドウ”」の公演等により芸術祭の充実と発展に功労があった。
	樋口 愁枯 団体/大分県洋舞踊協会 職業/舞踊家 [Redacted]	閉幕行事「大分県洋舞踊協会創立35周年記念公演」の公演等により芸術祭の充実と発展に功労があった。
新人賞	又見 有紀 団体/大分県洋舞踊協会 [Redacted]	閉幕行事「大分県洋舞踊協会創立35周年記念公演」で新人として極めて優れた発表を行った。
特別感謝状	執行 伸宣 団体/大分県洋舞踊協会 職業/舞踊家 [Redacted]	閉幕行事「大分県洋舞踊協会創立35周年記念公演」の振付・監修により芸術祭の充実と発展に貢献した。
	国際ソロプチミスト大分ーみどり 代表/得丸 良子 [Redacted]	開幕行事「秋三題と清経」の公演開催に尽力し芸術祭の充実と発展に貢献した。
	ヤマハ株式会社九州支店 支店長/辻田 猛	特別参加行事「園田高弘賞ピアノコンクール」の開催に多年にわたり協力し芸術祭の充実と発展に貢献した。

第30回記念大分県芸術祭に参加して

第13回国民文化祭を成功させよう。



大分県傘川柳連合会会長

佐藤 真砂延

県傘川柳連合会の芸術祭初参加は、昭和44年が第1回であった。第30回記念の第26回大分県川柳大会は、10月9日赤レンガ館大ホールで開催された。県下各地から120名の出席者を得たが、その中で男性最高齢者は89歳、女性は90歳であった。大会賞は豊後高田市の増田君子が受賞した。

これより先の10月1日第30回県芸術祭の記念式典が挙行されたが、連合会の多年にわたる功労に対し、表彰状が授与された。これを機に川柳文芸の向上と、第13回国民文化祭へ向けて更に一層の努力を続けて行きたいと思う次第である。

楽しく新しい音楽祭に期待



大分県軽音楽連盟事務局長

酒井 宏

去る11月3日、コンパルホールにおいて、大分県軽音連盟の主催による第28回音楽祭“LIGHT MUSIC FESTIVAL'94”を芸術祭の共催行事として開催した。

今回のコンサートにおいては、県内よりすぐりの個性的なバンドばかりの出場となり、楽しいコンサートとなった。まず最初のバンド「大分県庁職員吹奏楽団」は、スクエアとビートルズというスタイルの違う曲をうまく使い分けて楽しく聴かせた。次に、小学生ばかりで構成さ

れた「別府上人すこやかクラブ音楽部」は、演奏ばかりでなく、フリも楽しく大人も舌をまいた。3番目の、みらい信用金庫職員による「さうるす Beat Club Band」は、コミカルな演奏で、会場は爆笑の渦となった。次のトキハの職員による「IMPRESSION」は、メンバーのオリジナル曲をたっぷり聴かせ、最後の「BUMTY」は、渋いアコースティック・ジャズを楽しませた。

昭和42年から28回目という長い歴史の上に立ち、常に新しいものを求めながら、今後も活動を進めていく。

新しい出発



県民演劇代表

中 沢 とおる

昨年結成20周年で大作「杵築歌舞伎物語・螢雪酢屋の坂」を公演。今年はゆっくりしようと話していたら、芸術祭30周年の開幕に「大友宗麟を支えた男、英傑戸次道雪」をということになった。ところが準備途中、「秋三題の清経」に替ることになった。大分県子ども劇場連絡会議からの声もあり、共催行事として20年前の初演作「沈んだ島の物語」を再演することになった。3時間を2時間に改作、島の子どもたちを大勢出す内容にしたのでオーディションを実施。31名の若い生命がベテランと組んで舞台に立った。演出は劇団のホープ清末典子が作曲も含めて全力投球。2時間2回公演は満席、観客の手拍子大拍手が大成功を語った。4年後の国民文化祭にむけ新しい出発がきれたと喜んでいる。

新潮流展の発展を望む



新潮流の会事務局長

山崎 哲一郎

“新しい絵画創造の場の形成と会員相互の研鑽”を目的に新潮流の会は昭和61年に旗上げし、ここに記念すべき第30回芸術祭参加行事として「第9回新潮流展」を開催でき、これまでご批評、ご支援いただいた方々に心より感謝したい。

この会は個性の強い作家が主張や所属団体のワクを超えて結集する会員制の絵画団体として、一定の評価を得てきた。年齢や立場の違いを超えた謙虚な姿勢の中に自信と緊張感にあふれた質の高い作品に私は大いに触発され、ここまで育てていただいた。今展でも新人一人を加え、23名の作家一人ひとりが新しい表現の可能性を求めて懸命の努力の成果を発表し、多くの方々にご来場いただき盛況であった。来年は節目の10回展を迎える。芸術祭参加行事として発表させていただくと同時にマンネリ化しないように県外にまで向けた発表の構想も具体化しつつあり、ぜひ実現させたいと思う。

第30回記念大会にあたって



豊陽会代表

安東 陽

県芸術祭30回をむかえたが、この長い歴史の中で豊陽会としては16回にわたって参加をしてきた。

中でも第19回大会に於ては、日本でも最初の試みといわれた郷土民謡によるオペレッタ「お

さん狐」を創作し、開幕行事として公演させていただいた事は今もって鮮烈な記憶として生々しい。

この度30回記念大会という節目にあたっては、これまでとは違った緊張感をもつと同時に長い歴史をもつ芸術祭に自分達も参画しつづけてきたという自覚と満足感を覚える。これをステップにして近い将来には大分県芸術分野の集大成ともいべき超ジャンルによる舞台が制作される事を期待している。

創作活動に想う



佐伯文化振興会事務局長

小田部 恭

「演劇における美術」と題する朝倉撰先生の記念講演の中で、画家の先生が「絵画に立ち向うだけでなく、今や演劇のあらゆる舞台装置に必要な、美術の創作に喜びを抱き、心を打ち込んでおられる」と拝聴して、感銘を受け、己の創作意慾を揺さぶられたのである。

創作は、「自己の叡知を働かせることが必要であろう。文化が発展すればする程、生活の中で、自然の状態や、周囲の様子等あらゆる角度から、良く観察することが大切である。そして、自分の脳裏に焼きついている概念を打ち砕き、新しい「ひらめき」の修練する習慣を身につけることである。そうする事によって、自分にしかない「形のもの」または、「オリジナル」が創作されるであろう。



イタリア音楽を学んで

花の会代表

三浦美穂

今夏、イタリアにて勉強する機会をいただき、サンタマルゲリータの講習会に参加することができました。講師の先生方は、ソプラノ、イリス、アダミ、コラデッティ、ガブリエッラ、トゥッチ、テノール、ジャンニ、ライモンディ、バリトン、タディ、その他、ピアニスト、演出家、指揮者と、多くの指導者のもとで、レッスンは始まりました。まず第一日目は、オーディションから始まり、指導して下さる先生と、コースが決まりました。私は、テノールのライモンディ先生に指導していただくことになりました。朝9時30分からの声出しは、少々大変なものがありました。午前中は、発声を見て下さり、午後からのレッスンは、オペラのアリアです。プッチーニは、ヴェルディはと、作曲者のスタイルを注意されたり、息の使い方、呼吸、音楽、次から次と、先生の厳しい言葉が、飛んできます。そんなレッスンも、6時30分に終り、ホテルに帰る道々、一日の思いが、頭を駆け巡ります。緊張の日々でしたが、毎日、声を出せること、歌えることは、とても楽しいものでした。先生方、イタリアの人達の、音楽（芸術）に対する情熱を感じることもできました。思い切り声を出し、思い切り歌がうたえ、思い切り悩んで、思い切りイタリアの音楽を感じ、胸いっぱい帰ってきました。この思いをこれからの演奏に生かすことができたらと思っています。海外研修の機会をいただき、素晴らしい体験を宝にできましたこと、深く感謝申し上げます。



豊の国・大分から文化発信、その核となるビーコンプラザ



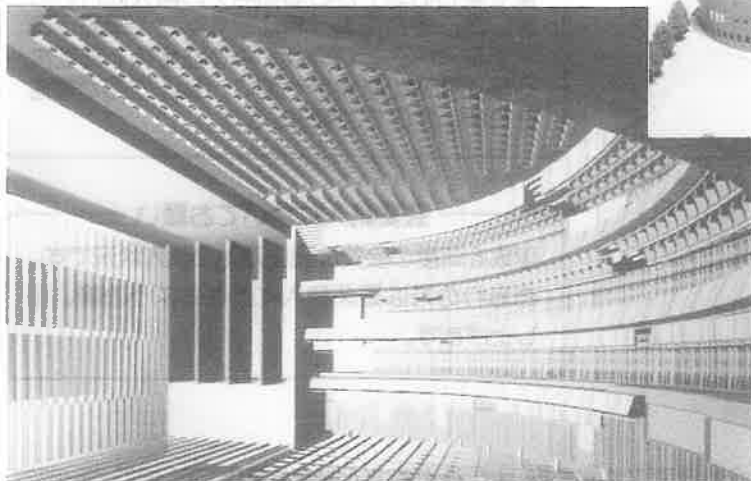
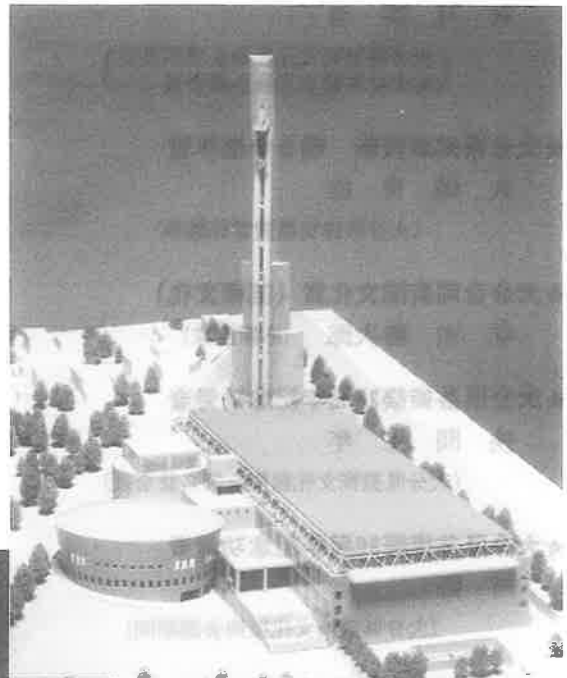
(財)別府コンベンションビューロー事務局長

渡部 寛

海・山・温泉に恵まれた自然環境都市別府に人・物・情報が集まり、コンベンションが生まれる。そして、そこにもう一つの顔が加わってくる。それは、文化。ビーコンプラザに多目的ホール「フィルハーモニアホール」ができ、ここから、広範囲にわたる文化が発信されていく。このホールの名前は、“調和を愛する人達が集う場”と言うギリシャ語の語源からついたもので、その名の通り今からこのホールで様々な文化が発表され、伝統が受け継がれ多くの人々の心に感動、潤いを与えてくれることだろう。

このホールは、アコースティック音楽に最適で、最大収容人数は約1,200人、客席は、ヨーロッパの伝統的なオペラハウスに見られる馬蹄型のバルコニー席、ホール全体が一体感のある雰囲気演出するようにになっている。ステージは可動式になっていて、大編成のクラシックコンサートや中編成のオーケストラ演奏から、講演会、演劇、舞踊、オペラ等、用途に応じてフレキシブルな対応が可能。まさにみんなの待望のホール誕生である。さらに世界的ピアニスト・マルタ アルゲリッチ女史を名誉音楽監督として迎え、国際レベルでの活動も期待される。

ビーコンプラザには、フィルハーモニアホールを始め、8,000人収容可能なコンベンションホールの他、国際会議場、レセプションホール、中・小会議場、エントランスホール等があり、利用者の必要に応じて対応できるようになっている。



(問)詳細は(財)別府コンベンションビューロー

(0977)26-7111

◆柿落とし「天降る女神たち」

のご案内はチケット係り

(0977)26-7105

事務局だより

平成6年度 会員の受彰(彰・賞)者紹介

★勲三等旭日中綬章

仲 町 謙 吉

(大分県芸術文化振興会議会長)

★文部大臣表彰(地域文化功労者)

大分県知事表彰(文化功労者)

小 長 久 子

(大分県芸術文化振興会議副会長)
(大分県民オペラ協会会長)

★文化庁長官表彰

後 藤 正 二

(元大分県教育庁文化課長)

★大分県知事表彰(文化功労者)

藤 永 義 高

(元三保の文化財を守る会長)

★大分県知事表彰(商工功労者)

秋 月 睦 男

(大分県芸術文化振興会議副会長)
(元大分県経営者協会副会長)

★大分県知事表彰 明るい高年賞

久 保 青 山

(大分県俳句連盟常任理事)

★大分合同新聞文化賞(芸術文化)

寺 司 勝 次 郎 (木版画家)

★大分県芸術祭30周年記念功労者

挾 間 正 年

(大分県芸術文化振興会議名誉会長)

★大分県芸術祭30周年記念功労者

河 野 彰

(大分県芸術文化振興会議顧問)

★大分県芸術祭30周年記念功労者

小 長 久 子

(大分県芸術文化振興会議副会長)
(大分県民オペラ協会会長)

★大分県芸術祭30周年記念功労者

中 沢 と お る

(大分県芸術文化振興会議副会長)
(大分県演劇制作協議会長)

★大分県芸術祭30周年記念功労者

脇 正 人

(大分県芸術文化振興会議副会長)
(大分県美術協会会長)

★大分県芸術祭30周年記念功労者

中 野 幸 和

(大分県芸術文化振興会議常任理事)
(大分県芸術祭運営協議会議長)

★大分県芸術祭30周年記念功労者

菅 久

(大分県芸術文化振興会議常任理事)
(大分二紀会代表)

★大分県芸術祭30周年記念功労団体

大分県洋舞踊協会、大分県日本舞踊連盟

大分県民踊連盟、大分県歌人クラブ

大分県俳句連盟、大分県番傘川柳連合会

大分県高等学校文化連盟、大分県児童文化研究会

芸振補助事業で開催される行事

平成7年1月～3月

行事名	開催月日	会場	主催団体名
平成6年度大分県吹奏楽アンサンブルコンテスト	1月8日	県立芸術会館	大分県吹奏楽連盟
第12回定期演奏会	1月15日	県立芸術会館	大分市少年少女合唱団
県民オペライタリアに行く	2月25日	コンパルホール	大分海外芸術文化交流の会
第9回二科会公募展	3月14日～19日	県立芸術会館	二科会大分県支部
20周年記念定期演奏会	3月26日	コンパルホール	大分ジュニアコーラス

基金へ寄付

第30回記念大分県芸術祭の開幕行事「古典芸能を楽しむ会」がさる10月2日盛大に行われました。その開幕行事に協賛した「国際ソロプチミストみどりの会」より益金の1部を大分県芸術文化基金の一助にと金20万円が寄付されましたのでご報告します。

会費納入についてお願い

平成6年度の会費は現在78%の納入状況です。お忘れの方は是非納入くださるようお願い申し上げます。